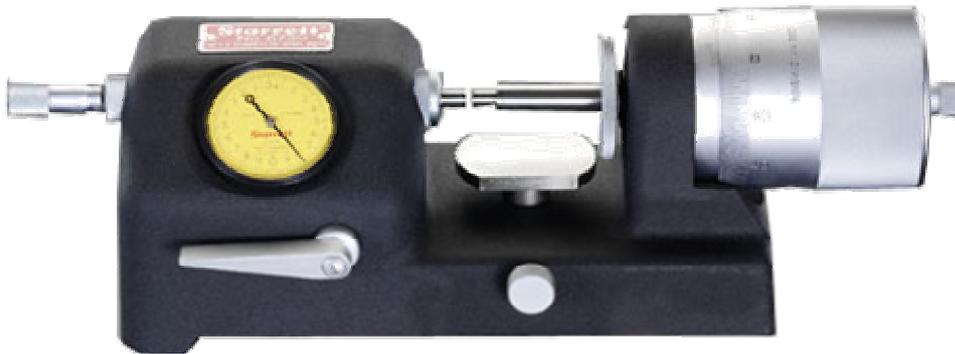


EA725EE-26 ダイヤルベンチマイクロメーター

- 測定範囲…(マイクロメーターヘッド):0~50mm、(ダイヤルインジケーター):0.2mm
- 目盛仕様…0~10~0
- 最小目盛…(マイクロメーターヘッド):0.002mm、(ダイヤルインジケーター):0.2mm
- ワークテーブル…57mm径、22mm垂直調整
- 高さ…110mm
- ベースサイズ…250×120mm
- スピンドル径…8mm
- 重量…8.8kg
- ケースサイズ…500×200×190(H)mm
- 作業現場あるいは検査までの作業台での使用に最適



○このベンチマイクロメーターは高度な機密機械であり、作業現場あるいは検査までの作業台での使用に最適です。コンパレーターとして2/1,000mm(0.002mm)までの測定が出来ます。また0.002mmまで直読できます。最大50mmまでの長さを測定することが出来ます。

・ベースは重くて強固な鍛造であり、アンビルとインジケーターの間で直線の摩擦の無い動作伝送メカニズムを動かす移動可能なアンビルが左端に組み込まれています。これはマイクロメーターが高精度であることを保証します。

・およそ77mmの大きなシンブル径は副尺スケールを使用しなくても容易に読取が出来るように間隔が広い目盛が切られています。

・シンブル、スリーブ共に千鳥状の設計で迅速な読取のできる目盛はつや消しのなし地クロム仕上げと相まってより簡単でより迅速な読取ができます。

・ヘッドはスピーダーが付けられており、歪みなしにどのような設定でもしっかりとスピンドルを保持する特別なリング型のロックナットを持っています。

・アンビルとスピンドルの下の中心に置かれた調整可能なワークテーブルです。テーブルを適切な高さで調整し、決められた位置でロックして測定はアンビルとスピンドルの間で正確に位置合わせできます。

・スピンドルとアンビルは長寿命の超硬面です。

○直接測定及びコンパレーターとしての使用方法

直接測定の為にはマイクロメーターヘッドはゼロにセットし、ダイヤルインジケーターはベゼルを調整してゼロにセットします。50mmの範囲のワーク材はマイクロメーターヘッドで0.002mm単位で測定できます。インジケーターは各々の測定でもゼロでなければいけません。コンパレーターとして使用する場合は最初に前述のようにヘッドとインジケーターをゼロにセットして下さい。次にマイクロメーターヘッドを比較する寸法にセットして下さい。アンビルを引っ込めた後にワーク材をアンビルとスピンドルの間のテーブルに置くと、アンビルはリリースされアンビルとスピンドルは、ワーク材に接触します。設定した寸法のプラス/マイナスの差はダイヤルインジケーターで0.002mm単位で読み取れます。